

ミヨウガを収穫

宮城・塩釜市

高橋和子

実家の庭の隅には毎年必ずミヨウガが生えてきて、そうめんや汁物に使うとき、子どもたちが摘んできた。仕事と子育ての時期はミヨウガは店で買うものだった。

4年前の5月、退職して時間ができたので、2

株分けてもらい、庭に植えると8月に20個育った。翌年は60個。今年は、5月ごろの細い芽もおいしくいただき、収穫を楽しんでる。

同じ材料で

北海道美唄市

吉岡ふみ子 (69)

長野市

武内真由美 (78)

美唄支部は毎月10日に仲間つくり行動をしています。今月は、新婦人の別の生活になって長く

テーマ

相手のパートナー、どう呼ぶ？

「良人」と書いて

岐阜・多治見市 牧瀬律子 (59)

「良人」と書いて「お」と読むんですね。ステキですよ。私は事実婚なので、書類などで関係を聞かれると「妻」「夫」と書くわけにいかず、いつも「同居人」です。せめて会話では「良人」と言っても許されるのではないのでしょうか。

名前にさんづけ

福島市 大塚愛子 (76)

「りょうじん」という読み方もするらしいので、「ご主人」に代えて「良人(りょうじん)」

名前「さん」付けで呼んでいます。友だちのお連れ合いにも昌さんやひろしさんと。

知人が「うちのお父さんは…」と話しているのを聞いて「あなたのお父

さんはおもういはいはず」と小声でツッコミを入れてたくなります。

でも、相手の名前を呼べない。おひとりさまが増えました。連れ合いの健一さん

月並みですが、「お連れ合いさん」です。女性でも男性でもオッケーですし、「おとさん」がちょっといいねいと勝手に思っています。

過去に保育園児の近所さんが「やよいさん」と呼んでくれて、ほんわかうれしくて、ちょっと

感動したことがあります。なので、名前がわかれば名前で呼ぶのが一番いいと思います。

普段から自分が言われたい「奥さま」と主人「は言わないと決めて

います。なので、初めての対話でも普段通りにします。

「母の日」と言っても特別なことは何も無い。

一人暮らしになって、花や物を贈ってもらった、食事に誘われたなどの話を聞くと、人のことをつらやむ生活はしないと思っていたのに、やっぱり、心の奥ではモヤモヤ…。そんなとき、自分の好きな花を少々奮発して買い、自分にプレゼン

読者がつくるページ

5月16日号の絵手紙の

うとかまわらないのです

が、「ありがとう！」だけは忘れないようにしています。

川柳

- ・本棚の戦記引き寄せ惚ふ夏 福島・本宮市 菅野孝子 (93)
- ・映像もモノトーンに戻るかも 埼玉・所沢市 雲たるま (77)

言葉「亡き母を想う母のものを作っている。たくさんある時間、やることがあるのは母のおかげです。お母さんありがとう。う日だ。この年になって、一番ありがたかったのは裁縫の楽しさを教え残してくれたこと。今はミシンで自分のために好きな施設に入所している母

施設の母と 鹿児島・始良市 鹿見島・始良市 鹿見島 (70)

と妹と私の3人で月に一回外食していました。外食のたびに母が体調をくずしてしまうので、今回はお茶だけにすることに。お茶だけで場もつのかと思つたけれど、それぞれが昔話をして盛り上がりました。

これまで私の知らなかったことを母や妹から聞き、1時間半があつという間でした。

母も喜んでくれたと思ふが捨てられませぬ。 年金生活5年 石川・金沢市 国光由美



長野・小諸市 布施和子 (75)

原稿募集

☆テーマ：今、聴きたい音楽／相手のパートナー、う呼ぶ？／どうしても捨てられないもの

投稿や作品をお待ちしています。また、紙面への要望・意見などお寄せください。投稿は300字前後、短くする場合があります。住所・氏名・年齢・電話番号を、匿名希望の方はペンネームを記載してください。掲載し、転載する場合は新婦人のSNSにあて先 〒112-0002 東京都文京区小石川5-10-20 新婦人しんぶん編集部 ファクス03-5805-2372 Eメール s-press@shinfujin.gr.jp

読者文芸

あなたも俳句

金子まさ江 選

クロッカス平和の国から武器商人

若手県 齊藤 祐子

〈評〉高市政権が国民多数の反対の声を無視して、国会にも凶刃を、武器輸出を全面解禁した。殺傷能力を持った武器も容認し、掲句の「平和の国から」の大転換に、怒りを簡潔に表現した一句。春や今憲法守れのペンライト

兵庫県 前田 秀子

〈評〉憲法に基づく平和主義が根底から覆される危機感から、主権者が自らの意志で憲法守れの声をあげている。まさに今ペンライトを揺らして。 春立や明日へ継ぐ種子抱いて

兵庫県 古田 誠実

〈評〉春立は大根や葉類が気温の上昇と共に茎を急に伸ばすことだが、それは命をつなぐ種子をつくることでもある。農に関わっているのか作者の視線に惹かれた。 母の日の姐の針箱整然と

京都府 木村喜代美

〈評〉亡くなった母親の遺品か。「針箱整然と」に几帳面な人柄がにじむ。母の日が効いている。

〈作品募集〉ハガキなどで編集部「あなたも俳句」係まで。作品は未発表のものに限ります。

- 形見なるふんわり軽き春シヨール 京都府 西川 知子
- 雑木の芽色とりのり平和色 長野県 大山 京
- メーデーや戦争止めよと声高く 福島県 阿部 博子
- 北海道 船木 幸子

おてんき てんきII

(2053)

